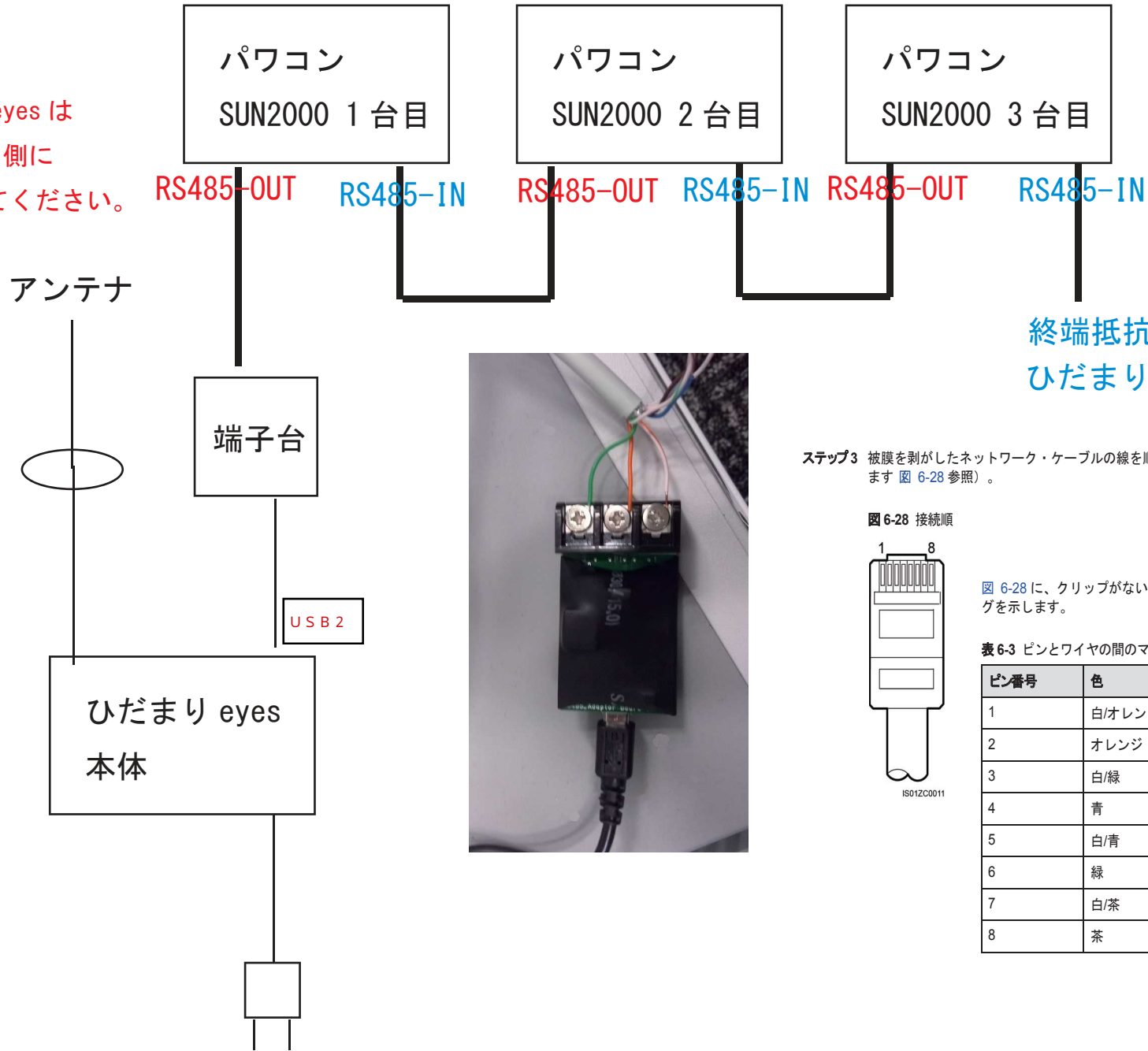


ファウエイパワコン 工事 配線図

注意！

ひだまり eyes は
RS485-OUT 側に
取り付けてください。



終端抵抗
ひだまり eyes に同梱

ステップ3 被膜を剥がしたネットワーク・ケーブルの線を順番に並べ、プラグの対応するピンに接続します (図 6-28 参照)。

図 6-28 接続順

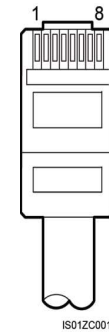


図 6-28 に、クリップがないコネクタ側を示します。表 6-3 に、ピンとワイヤの間のマッピングを示します。

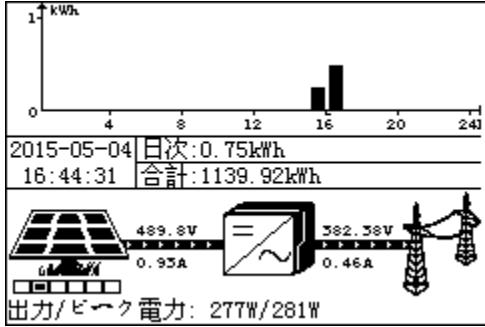
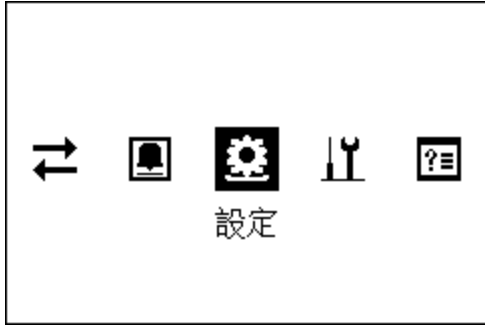
表 6-3 ピンとワイヤの間のマッピング

ピン番号	色	機能
1	白/オレンジ	RS485A、RS485 差動信号+
2	オレンジ	RS485B、RS485 差動信号-
3	白/緑	
4	青	
5	白/青	
6	緑	PGND
7	白/茶	
8	茶	

ひだまりeyes ファーウェイパワコン 設定方法

8.2.8 通信プロパティの設定

ひだまりeyesを接続するにあたって下記の設定をしてください。

LCD 画面	手順
	<p>1. ホーム画面で[←]を押し、メイン・メニューに移行します。</p>
	<p>2. [⚙]を選択して[←]を押します。</p>
<p>設定->パスワード</p> <p>ユーザー名: 上級ユーザー</p> <p>パスワード: 000000</p>	<p>3. [▲]または[▼]を押し正しいユーザー名およびパスワードを入力し[←]を押します。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ? オプションのユーザー名[上級ユーザー]です。[上級ユーザー]の初期のパスワードは000001です。パスワードを忘れた場合は、日のみ有効な動的パスワードをファーウェイ技術サポートまでお問い合わせください。ログイン後にパスワードを変更してください。 ? 認証に成功すると、システムはこの認証情報を30秒間保持します。設定画面を終了し、30秒以内に再度ログインする場合は、認証は必要ありません。
<p>設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィザード 一般設定 パスワード 通信プロパティ 保護要素 制御機能 起動/停止 	<p>4. [通信プロパティ]を選択して[←]を押します。</p>

LCD 画面	手順
設定→通信プロパティ RS485	5. 通信プロパティ画面で、[←]を押します。
通信プロパティ→RS485 アドレス:1 プロトコル:modbus ボーレート:9600bps パリティ:なし 整合抵抗:切断	6. [アドレス]、[プロトコル]、[ボーレート]、[パリティ]、[整合抵抗]を設定して[←]を押します。 ? オプションのアドレス範囲は-[63]です。 ? オプションのプロトコル[Modbus]です。 ? オプションのボーレート[4800bps]、[9600bps]、[19200bps]です。 ? オプションのパリティは[なし]、[奇数パリティ]と[偶数パリティ]です。 ? オプションの整合抵抗の値は[切断]と[接続]です。 このパラメータはデフォルトで[切断]に設定されています。通信ケーブルが長すぎるため、信号が変形しているか通信品質が低い場合は、パラメータ[接続]に設定してください。

設定→通信プロパティ RS485

アドレス 1から順番にパワコン台数分

プロトコル : Modbus
 ボーレート : 9600bps
 パリティ : なし

ここを変更するのみです。